

# 会議・視察報告

## 大図們江イニシアチブ（GTI）第2回運輸部会会合

ERINA 調査研究部主任研究員 新井洋史

2012年7月5日、韓国・東草市において、大図們江イニシアチブ（GTI）の第2回運輸部会（Transport Board）会合が開催された。運輸部会は、2009年の第12回GTI諮問委員会において設置が決定されたもので、GTIメンバー4カ国の運輸政策担当省庁から構成されている。2010年に韓国・釜山で第1回会合（設立会合）<sup>1</sup>が開催され、2年間は韓国が議長国を務めることになった。

今回の会議の主題は、GTIが推進している大図們江地域（GTR）をまたぐ6本の輸送回廊（図1）に関する現状認識を共有することであった。本稿もその要点の紹介を中心としたい。

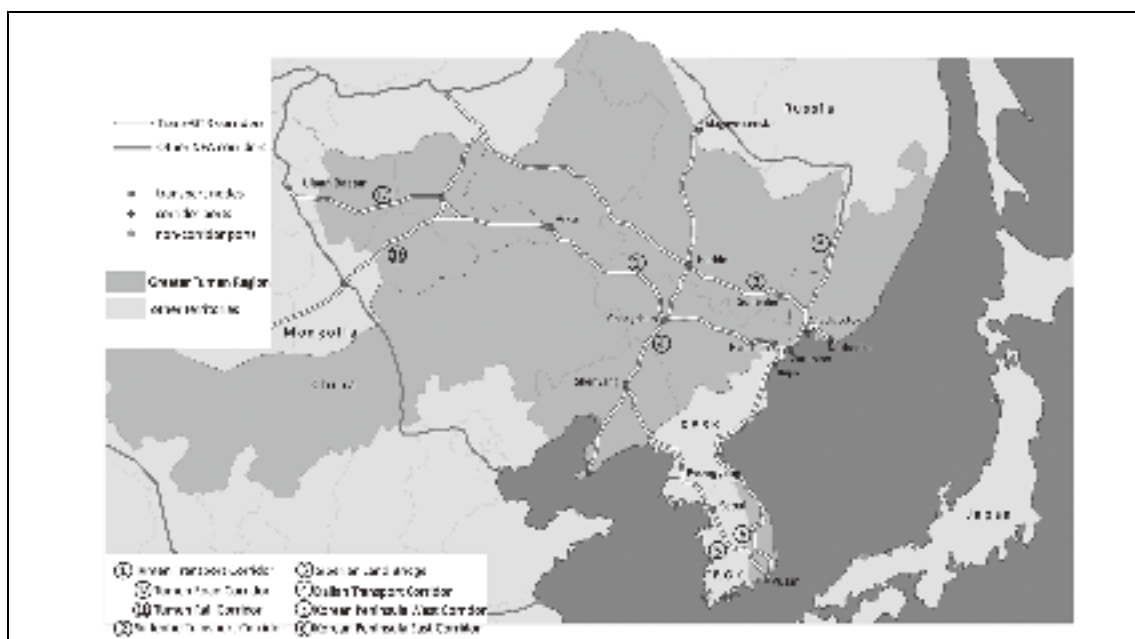
### 【地域協力の枠組み】

各国の状況に立ち入るに先だって、ジーン・F・ガトリン氏がアジア各地等における輸送回廊の推進状況やそこから得られる教訓などについて報告を行った。同氏は、今年

GTIが、筆者も含む6名の国際共同チームに委託して実施している輸送回廊総合調査の取りまとめ役を務めているコンサルタントである。実際に事例として取り上げたのは、ADBが支援している大メコン地域（GMS）、中央アジア地域経済協力（CAREC）、南アジア地域経済協力（SASEC）、BIMP-EAGA（ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン・東ASEAN成長地域）及びIMT-GT（インドネシア、マレーシア、タイ・成長の三角地帯）の4つの地域協力と南アフリカ地域のマプト回廊であった。これらの地域では、運輸部門の発展が地域協力の推進力となっていることが報告された。主な教訓としては、回廊ルートを選定する際の基準を明確化することが必要であること、回廊の発展にはインフラの連結とともに越境手続や貿易の円滑化が重要であること、外部支援を受けながらも各国政府が主体性を持つことが重要であることなどが指摘された。

ガトリン氏の報告に関連したコメントとして、国連アジア

図1 大図們江地域横断（Trans-GTR）輸送回廊



①図們江回廊、②綏芬河回廊、③シベリアランドブリッジ、④大連回廊、⑤朝鮮半島西回廊、⑥朝鮮半島東回廊  
 (出所) 図們江事務局

<sup>1</sup>「大図們江イニシアチブ運輸関連会議」『ERINA REPORT』vol.95、2010年9月、pp.22-23を参照。

ア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）のキム・ヒョンスク氏が発言し、CARECやGMSの例を引き合いに「アジアハイウェイ」及び「アジア横断鉄道」の枠組みを活用することの有効性を訴えた。また、GTI諸国においても、非物理的障害を取り除くための調整や越境手続の円滑化に努めてはどうかとの意見を述べた。

### 【中国】

国別レビューについては、総合調査プロジェクトの各国メンバーが報告を行い、部会メンバーである政府関係者がコメントする形で進められた。

中国の現状レビューについては、交通運輸部交通規画院の高美真氏が報告を行った。図們江回廊、綏芬河回廊、大連回廊及び朝鮮半島西回廊の中国部分で、インフラ整備が進んでいる状況などを紹介した。今後の取組として、高氏は、インフラの改善を継続すること、国際通行ルートを開設・維持していくこと、各国で政策や基準などの調整や統一化を図っていくことなどを推進すべきだと主張した。

交通運輸部国際司地区事務処の晏艶氏は、昨年12月に設置が決まった日中韓露4カ国政府による陸海複合一貫輸送を推進する協力の枠組を紹介し、GTIの活動との協力が重要であると強調した。

### 【モンゴル】

モンゴル科学技術大学のD.ゴトフ氏は、モンゴルにおける主要な問題はインフラ整備が不十分であることだと指摘した。モンゴル国内部分の図們江回廊ルート上の鉄道及び舗装道路は未整備である。インフラ制約がなくなれば、モンゴル・中国間での国境観光や辺境貿易の増加、さらに中国や韓国、日本などへの石炭、銅精鉱、鉄鉱石などの輸出が期待できる。今後開発が進む「タバントルゴイ炭田」、「ナリインスハイト炭田」及び「オユトルゴイ銅山」の3大プロジェクトによって、回廊を利用する貨物輸送量が大きく伸びることが見込まれる。

政府の立場では、鉄道庁長官のT.バトボルト氏が、鉱物資源開発の推進のためにも鉄道整備が進められつつあることを紹介した。

### 【韓国】

韓国に直接に関連するのは、朝鮮半島西回廊及び同東回廊である。これに関して、韓国鉄道研究院のナ・ヘスン氏が報告を行った。現時点では、南北間の貨物輸送が円滑に行われなことが南北経済交流の妨げになっていることを指摘した。また、将来的に朝鮮半島西回廊が活用されるこ

とになった場合には、ソウル首都圏での鉄道輸送能力の増強が必要になることも指摘した。これらに加えて、GTR地域内に存在する鉄道軌道幅の違いに対応するため、フリーゲージトレイン（軌間可変車両）の導入を提案した。さらに、北東アジア地域輸送協定や北東アジア運輸調整グループの設置といった方策を検討することも提案した。

ナ氏の報告に関連して、韓国国土海洋部総合政策室のキム・サンド氏は、韓国政府が2020年までの国家運輸ネットワーク計画を持っていることを紹介した。この計画は、朝鮮半島における南北協力やグリーン物流などに配慮したものとされているとのことである。鉄道、港湾、空港、道路の各分野をカバーしている。キム氏は、今回の調査に関して、韓国部分の貨物・旅客輸送需要に関しては韓国の専門家が緊密に協力していくことを約束しつつ、北朝鮮に係る部分については各国専門家からの情報提供に期待を表明した。

### 【ロシア】

極東海運研究所のミハイル・ホロシャ氏が報告を行った。同氏は、現時点でGTR輸送回廊の利用は限定的であり、その拡大が必要であることを強調した。ロシアでは、現在シングルウィンドウシステムの導入を進めるなど通関手続きの改善が進みつつあることを紹介した。さらに、今後ロシアがとりうる措置の例として、トランジットに関わる文書を発行すること、交通インフラ整備の条件整備に関わる文書を策定すること、トランジット輸送に関わるインフラ整備プログラムを策定すること、国境通過手続の円滑化や回廊機能の向上に係る措置を講じることなどを挙げた。その上で、GTI各国は、諸規制や手続きの標準化、回廊の整備や運用を推進する仕組みづくりを進めるべきであると主張した。

### 【日本及び海上輸送】

検討対象としているGTR輸送回廊には、日本や海上輸送部分は含まれていないが、GTR輸送回廊につながる不可欠の要素として本総合調査の対象となっている。この部分の調査は、筆者が担当している。報告の中で、筆者はGTR輸送回廊が日本、特に日本海側の地域に大きな影響を及ぼしうることを指摘した。日本にとってのGTR輸送回廊の意義は、GTRの中での内陸地である中国東北部及び東部モンゴル地域を日本との間の経済活動の新たな機会を生み出す形での構造転換を図ることであることを説明した。日本ではこの問題に関する関心が低いこと、海上輸送航路の頻度が低いことや運賃が高いことなどを課題として



指摘した。今後、GTR輸送回廊を推進していくにあたっての戦略としては、漸進的に進めること、既存インフラを効率的に活用すること、各取組を整合的に進めることの3点を提案した。

#### 【ディスカッション】

ディスカッションの中では、輸送回廊の推進に関連して必要となる資金調達の問題も話題となった。図們江事務局ではADBとも接触していること、また、「北東アジア輸出入銀行・開発銀行協会」といった新たな組織に関するアイデアを検討していることなどが紹介された。このほか、国境通過手続に係る問題の解決やトランジットにかかる協定の必要性などの意見が出された。

#### 【運輸部会の組織・運営】

現在進めている「GTI運輸協力プログラム2010-2012」を2013年まで延長することを決定した。その上で、2013年に「北東アジア海陸ルート評価調査」を実施することが決まった。また、韓国江原道から、2013年6月に「GTI運輸インフラ展示会イン江原道」を開催したいとの提案があった。費用は韓国政府が負担する予定であり、各国からは提案を歓迎する意向が示されたが、最終的な態度表明は持ち越された。

また、次回の運輸部会会合は2013年に開催されることと

なった。任期満了に伴う議長の交代に関して、ロシアが議長を出すことは決まったが、具体名は後日通知されることになった。

#### 【所感】

今回の会議を終わって感じたのは、徐々にではあるが各国の省庁担当者の理解が進みつつあるということだ。そもそもGTR地域は、各メンバー国にとって首都圏から離れた「辺境の地」とも言える。普通に中央省庁で日常業務を行っている限りでは、視野からこぼれてしまっても仕方がない。GTIという政府間の枠組みがあればこそ、この地域に彼らの目を向けることができているものと考ええる。

これとは別に、昨年12月に設けられた日中韓露の4カ国政府による海陸一貫輸送ルートの推進に係る協力の枠組みも同様の機能を果たすと思われる。

なお、GTIの中に含まれる「図們江」という地名（河川名）が実態とかい離してミスリーディングな言葉であるとの発言が、会議の中でも、また休憩中の雑談の中でも出されていた。前述図1の通り、実際に対象としている地域（GTR）は、図們江流域を大きく超えており、名称変更は避けて通れない道だと考える。そうすることで、より幅広い範囲から多くの資源を投入できるようになることが期待される。